

DMR-UBZ1 による DVD 鑑賞(24)

1. はじめに

前報(23)に引き続き、手持ちの BD を聴いていきます。今回の対象はブルーレイディスクですが、DVD のシリーズに含めておきます。

2. DMR-UBZ1 による DVD 再生方法

前報(1)と同様の再生経路です。

今回は、下記のブルーレイディスクソフトを視聴します。

Camerata CMBDM-80002

ハイドン 交響曲第 101 番<時計>

モーツァルト 弦楽のためのアダージオとフーガハ短調

シューベルト 交響曲第 5 番変ロ長調

ハンス・ホーフェン・オクセンホファー指揮

フィルハーモニック・アンサンブル・ウイーン・モーツアルティステン

3. DMR-UBZ1 による DVD 再生結果

ハイドンの交響曲第 101 番<時計>は、CD で聴くのと印象が違い、繊細で細かい音まで拾えています。

モーツァルトの弦楽のためのアダージオとフーガは、モーツァルトらしくない重々しい表情の曲ですが、低弦のリアルな表現がよく出ています。

シューベルトの交響曲第 5 番は、シューベルトらしい美しい旋律の曲で、そのような繊細な表現が BDR でよく再現されています。

4. まとめ

いずれの曲もウイーンのアンサンブルらしく繊細な表現の演奏ですが、そのことが BDR でよく再現されています。

以上